



「松本だるま」は眉と頬の毛が濃い。養蚕の繭(まゆ)が由来とか。



Q.)なんでだるまを焼くの？

A.)だるまを燃やして天に返し、厄除け等を祈ります。

同じどんど焼きでも、地方によって、だるまの扱いが異なります。縁起物を焼くと目がつぶれるとされ、祭りでは焼かない地域もあります。

三九郎では、だるまを一番目立つ頂上付近に飾り付けたり、縄でつないで、飾り付けたりして燃やします。天に返し、厄除けや無病息災を祈ります。

Q.)なんで「三九郎」って呼ぶの？

A.)諸説あり。円錐形のもの、そのものも「三九郎」と呼び、大三九郎と小三九郎をつくります。

「呼ぶ三九郎」をつくる地域もあり

- ・道祖神の「神主福間三九郎」のお札が配られたことによる人名説。
- ・三九郎と呼ぶ木製の人形を備えることから人形名に起因する説
- ・凶作・重税・疾病の三つの苦労=三九郎とし、それを燃やすという説。
- ・三本の柱を立てて九段に横木を渡す説。
- ・松本城を築いた石川氏時代の文書に登場する、三人の三九郎との関係説。 など。

繭玉(まゆだま)の作り方

recipe by: Miyako Furihata

意外に簡単☆粘土細工気分
手の感触もホワホワ~楽しい~☆

- ◆材料 米粉: 250 g
お湯: 200 g …… (火傷しない位に冷ます)
砂糖: 大さじ3 … (味だけでなく、入れると硬くなりにくい☆)
食紅: 赤・緑・黄などほんの少し (カレー粉や青菜などでも楽しい☆)
打ち粉用の米粉: 50 g *柳の枝

◆作り方 <調理時間: 1時間程度>

- ① ボールに米粉と砂糖を入れ、お湯を少しずつ加え、耳たぶ位の硬さでまとめる。(お湯を入れ過ぎないように注意★)
- ② ①を作りたい色の数に分けて丸くし、少し平らに伸ばし、湯気の立った蒸し器に入れ約20分蒸す。(生地がやや透き通った感じになるまで☆)
- ③ 生地を蒸し器から出し、色ごとにボールに入れる。それぞれの色素を、ほんの少量入れてこねる。(火傷に注意★最初は麵棒などでつぶすとよい)
- ④ 生地をよくこねたら、直径3センチくらいの固まりにして、いろいろな形に成形し、打ち粉用の米粉を広げたバットの中に入れて転がす。
形の基本は、繭玉、しずく、小判。その他、今年豊作になってほしい野菜や果物。大漁を願って魚など、好きなものをつくる。
- ⑤ 作った繭玉を、柳の枝にさす。

★繭玉(まゆだま)って何の形?
繭という漢字についても調べてみてね。



企画・制作: 東部地区まちづくり講座有志・東部公民館・第3地区公民館

Coordinator: Satoru Kurasawa Illustrator: Mica Takada

女鳥羽川
蚕糸公園

三九郎 2023

Sankurou Fire Festival

だるまが燃える!
はーとも燃える!



三九郎(さんくろう)とは、小正月(1月15日前後)に行われる火祭りです。同様の火祭りは全国各地で行われており、「どんど焼き」「左義長」と呼ばれていますが、松本市周辺では、「三九郎」と呼びます。正月飾りや連磨(だるま)、縁起物、わらなどを河原や空き地などに集めて円錐形に組み、火をつけて燃やします。この火で、繭玉(まゆだま)と呼ばれる餅を焼いて食べると虫歯にならない、腹を病まないなどといわれます。また、焼け残った小枝は、火除けになるともいわれています。(参考文献:松本市史第3巻 民俗編)

A fire ceremony held on the middle of January, called Sankuro in Matsumoto region, also called Dondo-Yaki in Japan, is beautiful festival for children. New Year's decorations for good luck and Daruma doll are burnt withpraying for good health by Sankuro which are taken place on the river or on the rice field. The Sankuro is a ceremony worth visiting, and the people on the site may welcome you.